

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和6年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
産業の振興	板橋地内排水路改修事業	当該地区の水路は完成後30年以上が経過し、劣化や破損が進行している状況であることから、水漏れ等が生じ田畑に必要な用排水機能を確認できず農耕作に支障を来している。また、降雨時には排水ができず周辺の田畑に冠水被害が出るなど環境悪化の原因にもなっている。農耕作に必要な用水の確保、降雨時の排水機能の向上を図るためにも、計画的に改修を行う必要がある。	○排水路改修 U300入替 L=76m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 当該事業を実施したことにより、農耕作に必要な用水の確保、降雨時の排水機能の向上、農業環境の改善が実現し、更なる農耕作の支援、耕作放棄の防止、農用地の保全対策に取り組むことができ、地域の持続的発展が図られた。
	南郷そば振興センター改修事業	平成11年の建設から20年以上が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に修繕又は更新を行う必要がある。	○受電キュービクル改修 ○コンバイン等移動用車両更新	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 受電キュービクル改修事業を実施したことにより、施設における電気供給の安全性が確保され、利用者に対する利便性の向上及び施設環境の改善、施設の延命化及び地域の持続的発展が図られた。 コンバイン等移動用車両の更新により、作業効率が向上し、南郷地区の地場産業であるそばの安定的な生産と消費の拡大につながり、地域の持続的発展が図られた。
	朝もやの館直売所改修事業	平成15年の建設から20年以上が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に修繕又は更新を行う必要がある。	○照明設備修繕	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、利用者や従業員に対する快適で過ごしやすい施設空間が確保されるとともに、施設内環境の改善や利便性の向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	グリーンプラザなんごう改修事業	平成8年の建設から20年以上が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に修繕又は更新を行う必要がある。	○空調設備修繕 ○浴室修繕	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、宿泊施設としての美観・魅力が向上するとともに、施設内環境が改善され、総合的に集客につながり、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和6年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
産業の振興	ジャズの館南郷改修事業	平成12年の建設から20年以上が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に修繕又は更新を行う必要がある。	○冷凍冷蔵庫、製氷機更新	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、安全で衛生的な調理環境が維持され、施設内環境の改善や利便性の向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	島守田園空間博物館改修事業	平成15年の建設から20年以上が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に修繕又は更新を行う必要がある。	○総合情報館排煙窓修繕	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、利用者や従業員に対する快適で過ごしやすい施設空間が確保されるとともに、施設内環境の改善や利便性の向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	南郷地区活性化施設連携交流事業	森と水のサンクチュアリ連絡協議会（構成団体：なんごうプラザ㈱、山の楽校運営協議会、島守田園空間博物館運営協議会）の地域の主要な観光施設が、単体でなく連携したかたちで南郷地域の魅力を発信する事業を展開する必要がある。	○春まつり（5月） ○青葉湖新緑ウォーク（5月） ○南郷の日（7月） ○新そばまつり（10月） ○雪室まつり（2月）	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し南郷地域の主要施設間で連携を図り交流事業を行う。 当該事業を実施したことにより、施設の連携が強化されるとともに地域全体の活性化が促進され、地域の持続的発展が図られた。
交通施設の整備 交通手段の確保	砂竈・十文字線 L=2,160m W=10.5m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また、国道340号から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳、青葉湖等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○物件調査委託 ○用地購入 ○移設補償	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上につながり、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和6年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
交通施設の整備 交通手段の確保	笹子・田ノ沢線 L=1,500m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また、国道340号から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳、青葉湖等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 ○移設補償 L=58m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上につながり、地域の持続的発展が図られた。
	赤羽・上相野線 L=1,535m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 L=170m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間等の解消、安全の確保が実現し、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
	鳩田・中小花線 L=1,770m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また、国道340号から観光農園等に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 ○物件調査委託 ○防災無線移設業務委託 ○移設補償 L=132m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	人形森・中新田線 L=1,050m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また、国道340号から観光農園等に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 ○移設補償 L=270m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和6年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
交通施設の整備 交通手段の確保	島守・堤森線 L=1,936m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また、国道340号線から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳、青葉湖等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 L=20m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	市野沢・増田線 L=1,900m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また、国道340号から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳、青葉湖等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 L=152m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	参勤街道・大森線 L=1,200m W=8.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○舗装補修 L=300m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間等の解消、安全の確保が実現し、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
	阿庄内・目蕪う線 L=700m W=7.5m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○舗装補修 L=200m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間等の解消、安全の確保が実現し、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和6年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
交通施設の整備 交通手段の確保	馬場瀬・山陣屋線 L=1,700m W=7.5m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○舗装補修 L=500m	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間等の解消、安全の確保が実現し、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
子育て環境の確保、 高齢者等の保健及び 福祉の向上及び増進	老人福祉施設改修等事業	老人福祉センター（デイサービスセンター併設）は、建設から30年以上が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいることから、計画的に各年度において修繕又は更新を行う必要がある。	○老人福祉センター特殊浴室パネルヒーター修繕	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、施設利用者に対する集いの場の機能が向上するとともに介護保険事業が円滑に推進され、施設環境の改善及び利便性の確保、施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。
教育の振興	集会施設改修等事業	南郷地域内における農業研修施設は、地域住民の話し合いや憩いの場、活動の場として利用されているが、各施設は設置から30年から40年が経過し、老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に改修等を行う必要がある。	2施設 ○非常照明修繕	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、利用者に対する安全確保、利便性の向上及び施設環境の改善、施設の延命化及び地域の持続的発展が図られた。
	南郷体育施設改修事業	近年、余暇時間の増大や健康づくり意識の高まりなどを背景に、スポーツ・レクリエーションに対する関心が高まっており、また、生涯学習の一環として、スポーツの日常化を目的とした生涯スポーツの重要性が高まっている。各施設は建築後30年以上が経過し、老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に改修等を行う必要がある。	○カッコーの森エコーランド遊具修繕	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、地域住民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができる環境が創出され、利用者に対する利便性の向上及び施設内環境の改善、施設の延命化及び地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和6年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
教育の振興	南郷地区児童生徒通学支援事業	南郷地区の学校の統廃合により、公共交通機関がない遠隔地からの児童生徒に対する交通手段を、マイクロバスとタクシーを組み合わせたかたちで確保する必要がある。	○スクールバス運行等通学支援業務委託	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し児童生徒の交通手段の確保を行う。 当該事業を実施したことにより、安心して学校生活を過ごせる環境が確立され、将来を担う子どもたちの人材育成につながり、地域の持続的発展が図られた。
地域文化の振興等	南郷歴史民俗資料館改修事業	昭和54年の建設から40年以上が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでおり、安定的な資料保存環境及び良好な見学環境の保全を図るため、計画的に修繕又は更新を行う必要がある。	○収蔵庫棟屋根・外壁塗装工事	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、利用者に対する安全確保、利便性の向上及び施設環境の改善、施設の延命化及び地域の持続的発展が図られた。
	南郷文化ホール活用促進事業	南郷文化ホールにおいて、舞台公演やコンサートなど地域住民が文化芸術に触れる機会を創出するとともに、出演者によるアウトリーチを実施することで、これまで以上に施設の利活用の促進を図る必要がある。	○文化公演事業委託	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の利活用の促進を行う。 当該事業を実施したことにより、ホールの利用率及び集客力の向上に加え地域住民が多様な文化芸術に触れる機会が増え、地域文化の振興や地域の持続的発展が図られた。
	島守田園空間博物館交流推進対策事業	島守地区の自然や文化を活用した学習会や観察会、ウォーク等を開催するほか、地区で収穫されるそばやもち米を使った、新そばまつり、年越しそば、切り餅の販売を行い、年間を通じて地域の特性を活かした事業を展開し、高齢化や後継者不足が進む傾向にある当該地区内をはじめ、外部からの人材確保や協力体制の仕組みをつくる必要がある。	○八戸市島守田園空間博物館交流推進対策事業	令和6年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し地域活性化を行う。 当該事業を実施したことにより、島守地区の自然や文化等について他地域との交流及び機会の提供場所として積極的に展開する施設の利活用が促進され、地域の持続的発展が図られた。